

日 本 ウ マ 科 学 会

1 学会名：日本ウマ科学会
(Japanese Society of Equine Science)

2 事務局：
日本中央競馬会競走馬総合研究所内
〒320-0856 栃木県宇都宮市砥上町321-4
TEL 028-648-5099
FAX 028-647-0686
E-mail e-office@center.equinst.go.jp
URL <http://www.equinst.go.jp/JSES/>

3 目的：
この学会は、馬の改良増殖その他畜産の振興並びに馬事文化の伝承に資するため、馬に関する研究の推進と、それらの成果を社会に還元することを目的とする。(会則第2条)

4 組織：
会 長 菅野 茂 (東京大学名誉教授)
副会長 2名
理 事 16名 (内、常任理事 6名)
監 事 2名
評議員 27名
会 員 812名 (2011年10月31日現在)

5 沿革：
戦後、わが国のウマ産業が急速に競走馬へと集中していくなか、学問分野におけるウマの扱われ方も部分化され狭小化していった。そのことに強い危機感を覚えた有志により、1990年3月31日、日本ウマ科学会は発足した。

発足総会は、日本都市センターに177名が集合して行われ、故 西川義正京都大学名誉教授が名誉会長に、本好茂日本獣医畜産大学教授が会長に、それぞれ選出された。また、同年11月23日には225名がJRA馬事公苑に参集して、第1回学術集会在開催された。その後、2001年には2代目会長に上原伸美氏が、2005年には3代目会長に小川 諄氏が、2011年には4代目会長に菅野 茂氏がそれぞれ選出され、今日に至っている。

この間、定期的な学術雑誌の発行と学術集会の開催を行ってきたほか、1994年の国際馬伝染病会議東京大会の後援、1995年の世界獣医学会横浜大会ウマ分

科会の共催、1998年の国際馬運動生理会議の共催、2000年のホームページ開設、2003年のウマ用語集発行、2009年の馬臨床ワーキンググル

ープ発足など、国内外に向けて活動の幅を広げてきている。

6 活動内容：

獣医学から乗馬・馬術・競馬まで、あるいは自然科学から芸術・文化まで、ウマ（馬ではなく）をキーワードに幅広い分野の会員が参加していることが、本学会の特徴である。また、事務局を日本中央競馬会（JRA）競走馬総合研究所におくことで、JRAと密接な関係を保ちながら、細やかな運営がなされている。

現在は、英文誌“Journal of Equine Science”と和文誌“Hippophile”の2種類の雑誌をそれぞれ年4回発行しているほか、JRA競走馬総合研究所が発行する普及用機関誌である“馬の科学”を交換雑誌として会員に配布している。また、学術集会を11月もしくは12月に2日間の日程で毎年開催しており、ここ数年は弥生講堂を中心とした東京大学農学部を会場に、JRAの“競走馬に関する調査研究発表会”と併行開催することで、より多くのウマ関係者が一堂に会することができるようになっている。

さらに、新規会員へのウマ用語集の配布、若手研究者を対象にした学術渡航支援、馬事文化に係わるシンポジウムの開催、馬臨床ワーキンググループによる海外招待講演会や症例検討会の実施など、ウマに係わる人すべてに魅力を感じてもらえる学会を目指している。

本学会は、どなたでも会員になれる。興味のある方は事務局まで連絡をいただきたい。年会費は5,000円で、学会活動の概要はホームページでも参照いただける。皆さんも日本ウマ科学会の会員になって、ウマ談義に花を咲かせませんか？

7 文責者：安齊 了 (副会長)



会員に配布される冊子及び雑誌